



目次：

刀根山寮	1	法人文書の管理に関する研修の実施	6
学生から見た大阪大学		新任教員研修の実施	6
ー女子学生、戦時・占領期の歴史調査プロジェクトー	2	受贈刊行物（2017年9月～2018年2月）	7
退任のご挨拶	5	業務日誌（抄）（2017年9月～2018年2月）	11
アーカイブズからのお願い	5	利用案内 等	12



刀根山寮

大阪大学は、1958年8月に、豊中市刀根山の旧米軍刀根山家族宿舎（木造13棟、延3,008㎡）を入手して、定員142名の刀根山寮としました。その後老朽化が進み、1980年に建て替え工事を行い、1981年4月からは個室制の寮に生まれ変わりました。

（菅 真城）

学生から見た大阪大学

ー女子学生、戦時・占領期の歴史調査プロジェクトー

大阪大学大学院文学研究科 教授 北原 恵

1. はじめに

今回、私が取り組んできた大阪大学の歴史調査に関する授業を紹介することになった。とはいっても、阪大の女子学生や、戦時中・占領期の歴史など公的な歴史からはあまり見えなかったテーマばかりである。どちらも文学部日本学専攻の学部生向けの調査研究の基礎を教える授業の一環として行ってきた。阪大の女子学生調査プロジェクト（2012～14年度）は、中間報告として研究報告書の形にまとめていったん終えたが、調査の過程で学生も私も、戦時期の学生の生活や阪大が置かれた状況がよくわからず気になっていた。占領期の歴史となると、漠として知れない。

そこで2016年度前期に戦時中・占領期の阪大の歴史について、学部2回生を対象にした必修授業で数回、文献調査の実践練習として実験的に取り組み、2017年度前期には半年間のゼミで調査した。成果は受講生のレポートを綴じた簡単な報告書を作成しただけだが、この授業の受講生のなかから、大阪大学の助成金を頂いて占領期の研究を続ける学生も現れた。本稿では、この数年間私が取り組んできた2つのテーマの授業の実践と学生の自主研究について報告したい。

2. 阪大の女子学生プロジェクト(2012～14年度)

阪大の女子学生に関する調査は、2012～14年度にかけて、日本学専攻の「比較文化学演習」を使って、前期のみ3年間続けたプロジェクトである。卒論作成のための様々な調査方法を実践的に学ぶこの授業の対象学生は、日本学の学部3・4回生であり、毎年20名くらいが履修した。実際にプロジェクトを始めてみると、前期の半年間だけの授業だったため作業が中断し遅々として進まず、次年度への引継ぎもままならなかった。調査は緒に就いたばかりだったが、2015年3月、いったん報告書として冊子化し、あらためて調査を続ける機会を待つことにした。

授業では学生たちの関心も様々なので、①文献調査、②インタビュー調査、③ウォッチング調査の3つの班に分かれて調査を進めた。文献調査班は、主に大阪大学の編集した書籍や資料、新聞・雑誌などの文献資料を用いて、近代以降の日本の女子学生と大阪大学の女子学生の歴史をまとめた。だが、阪大にこれまで女子学生がどれくらい在籍したかという基本的なデータすら大学では作成されておらず、学生たちは大阪大学アーカイブズや図書館、各部局の教務などに通って資料を作成しなければならなかった。インタビュー班は、大阪大学文学部の卒業生たちから聞き取りを行い、ウォッチング班は、現在の阪大生の様子を考現学やアンケート調査の手法を用いて描き出そうとした。何をウォッチングするのかは学生たちに任せるところ、彼らは髪の毛の色に注目して、現代の阪大生の姿を探ることになった。

文学部の卒業生への聞き取り調査は、まず私の知り合いから始めることにした。私の前任校の甲南大学の同僚でお世話になった上村くにこ先生（1944年生、仏文科専攻、甲南大学名誉教授）にはご自宅を訪問してお話をうかがい、志水紀代子先生（1940年生、哲学科専攻、追手門学院大学名誉教授）には、授業で講演をしていただいた。話の内容は学生時代に留まらず、戦時中の幼少期の頃から現在に至るまでに及び、研究テーマと一体になった生き方そのものを教えてくださったのである。

プロジェクト2年目（2013年度前期）は、文学部草創期の卒業生たちにお会いすることができた。1948年9月開設の「法文学部」（文法経、募集定員は各40名）は文学部の前身になるが、このときただ一人の女性として入学したのが、旧制大学時代の第1期生、佐々田公子氏（英文学専攻）だった。佐々田氏と吉田美沙子氏（旧制2期生、国文学専攻）は、敗戦後の混乱の中での困難を極めた勉強や通学、その後の人生について、学生たちに一気に語ってくださった。そして最後に

インタビューした柴田三穂子氏（西洋美術史専攻、毎日放送勤務）からうかがったバブル経済期の学生時代の話は、学生には驚きの連続だったようである。

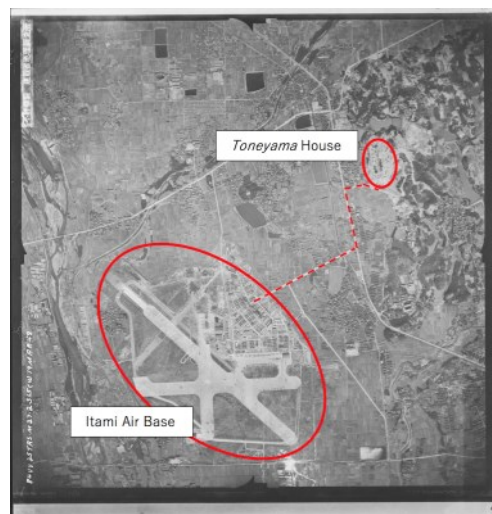
3. 戦争・占領期の大阪大学(2016年～2017年度)

阪大の女子学生プロジェクトの次に学生たちと取り組んだのが、「戦時中・占領期の大阪大学」である。卒業生から、阪大の豊中キャンパス周辺で進駐軍と出会ったことや、刀根山ハウスで働くメイドさんとよく話をしたと聞いたことが心にひっかり、いつか調査をしたいと考えていた。

しかし、関心はあるものの専門外の領域であるため、実際始めてみると「指導」どころか私自身の勉強が全然追いつかない。そこで戦時期・占領期の大阪の歴史に詳しい塚崎昌之先生に、軍都大阪のなかの大阪帝国大学から吹田・枚方事件までの阪大の歴史についての授業をお願いしたり、附属図書館参考調査係や総合学術博物館、アーカイブズの先生方に助けていただきながら、何とか半期の授業を終えることができたのだった。

周知のように豊中キャンパスには戦争にまつわる歴史遺跡も多い。授業の始まった4月には飯塚一幸先生や菅真城先生の論文を片手に、学内を歩き回った。1919年陸軍特別大演習の際この地を訪れた天皇・皇太子の行幸啓碑を探し、大学会館に残された奉安庫を皆で見学した。歴史調査の合間に映画を見ることもあった。『サヨナラ』（米、1957年）は米国の日本人像を示す映画として有名だが、そのなかに占領軍に接収された当時の「Itami Air Base」の実写が登場するのである。そして1カ月の助走期間を経て、学生たちは各自の関心に合わせてグループを作り共同研究を進めた。

多くの学生が関心を持ったのは、自分たちと同じ阪大生の生活である。戦時下において、彼らはどんな授業を受け、どんな課外活動を行っていたのか。さらに軍事訓練の様子や、臨時附属医学専門部の活動、占領期の浪高と教育闘争、浅田常三郎の『防空科学』や阪大理学部草創期に焦点を当てて戦争との関わりを調べる者もいた。米軍占領と蛍池の歴史をテーマにした日本学の卒論（大阪大学文学部、2016年度）を参照しながら研究を進めたチームは、文献調査のほか、子供の頃、刀根山ハウスに住んだ経験のあるアメリカ人と英語でメールのやり取りをして、



占領期の大阪大学周辺地域の航空写真(1948年)
出典: 国土地理院ウェブサイトの写真を加工
(自主研究グループ提供)



IABゲートに続く「テキサス通り」
出典: 『空港と歩んだ70年: 大阪国際空港開港70周年記念』(伊丹市立博物館, 2009年, p.5)



占領軍の家族用住宅、刀根山ハウス
(大阪大学アーカイブズ所蔵)

当時の様子をインタビューした。また中国人留学生がレポートにした留学生の歴史は、阪大の歴史を調査するうえで欠かせない視点であり今後の課題である。

このようにテーマも多岐にわたり試行錯誤の連続だったが、思わぬ「副産物」もあった。受講生のなかから占領期の阪大に関心を持った学生たちが、「平成29年度学部学生による自主研究奨励事業」の助成を受けて研究を続行したのである（日本学専攻：西村まりな（3回生）、前川拓人（以下2回生）、松村健聖の「交流と断絶の占領期—大阪大学周辺地域を中心に」）。

西村らのグループは、現在の伊丹空港が「Itami Air Base」として占領軍により接収されていたと知り、占領期の人々の経験に興味を抱くようになった。自主研究では大阪大学周辺地域（主に蛍池地区）の住民たちにとって占領期とはどのような時代だったかを探るため、①図書館や文書館での文献調査、②蛍池地区での聞き取り調査、③大阪・東京のフィールドワークを行った^{注1}。こうして収集した資料の中には占領期の資料として活用されてこなかった『大阪大学新聞』（大阪大学新聞部、浪速高等学校新聞部）、『E. S. S. Times』（豊中高等学校英語研究会）などもあり、今後の分析が待たれる。

4. 今後の課題

私は、阪大の女子学生の歴史を知ることは、男子学生も含めて自分自身がこれからどう生きるのかを考えることだとゼミではくり返し話してきた。本学では1935年、理学部数学科に中野富子^{注2}氏が初の女子学生として入学して以来、80年以上がたつ。日本の国立大学（東北帝国大学）に女子学生が初めて入学して100年目を迎えた2013年には、東北大で100周年を祝うイベントも開かれたそうであるが、大阪大学の女子学生についてはいまだにまとまった書物や研究は管見の限り存在しない。占領期の阪大や周辺地域の歴史についても不明なことはあまりにも多く、卒業生や関係者からの聞き取り調査を急ぐ必要がある。大学として歴史をまとめ次の世代に引き継ぐ必要があるだろう。



「男の教室」を築立つ——わたしは女理學士よ
阪大はじめて 中野富子さん
出典：『大阪毎日新聞』（1939年2月2日）



「御講評場」(待兼山の大阪医科大学予科校庭)
出典：兵庫県編『陸軍特別大演習兵庫県記録
大正八年』（兵庫県、1920年）

注1 自主研究チームが勉強会を開いて読んだ本は、吉見他編『ひとびとの精神史：敗戦と占領1940年代』：J. ダワー『敗北を抱きしめて』：H. ハルトゥーニアン『歴史と記憶の抗争』：茶園繁美『パンパンとは誰なのか』：西川祐子『古都の占領』：平井和子『日本占領とジェンダー』など。夏休みには集中的に聞き取り調査と資料収集を実施した（大阪府立図書館（中央・中之島）、豊中市役所、岡町図書館、豊中市文書館、池田文庫、国立国会図書館、米軍横田基地、江戸東京博物館、ジョンソンタウン他）。

注2 「戦前の女子入学と大阪大学：中野富子氏に聞く」『大阪大学史紀要』3、1983年11月

退任のご挨拶

大阪大学アーカイブズ 室長 飯塚 一幸

この度、4年間務めさせていただいた大阪大学アーカイブズ室長を退任することになりました。大阪大学アーカイブズは2012年10月に発足し、2013年4月に公文書管理法に基づく「国立公文書館等」および「歴史資料等保有施設」に指定された、比較的新しい組織です。初代室長であった経済学研究科の阿部武司先生から室長の職務を引き継いだのは2014年4月であり、まだ本務とも言うべき保存期間が満了した法人文書の移管も、「試行」と称して手をつけたところでした。それから4年経ち、法人文書の移管が全部局に及ぶようになって、様々な問題を抱えながらも文書管理業務はようやく軌道に乗ってきました。個人的には、スタッフの努力が実を結び、学内におけるアーカイブズの認知度も少しずつ上向いてきていると実感しています。

とはいえ、課題も山積しています。2017年8月、21世紀懐徳堂・総合学術博物館・適塾記念センターとアーカイブズの4組織を母体に社学共創本部が立ち上がり、本年1月には社学共創本部・産学共創本部・渉外本部の3本部によって構成される大阪大学共創機構

が創設されました。このように、組織的には大きな変化の中にあり、アーカイブズもこれまで通り文書管理業務を担いつつ、地域社会の諸課題を解決すべく社学共創活動を展開していくことが求められています。

もう一つ、2021年に予定されている箕面新キャンパス（箕面市船場東）への移転に伴い、アーカイブズの引越し先の選定が重要な課題となっています。箕面新キャンパスはスペースが限られていて、アーカイブズ等の入る建物を確保できないのです。そのため、吹田キャンパスもしくは豊中キャンパスで落ち着き先を探している最中なのですが、せっかく現在よりも交通の便の良い場所に移るのですから、これを機に学内外の皆さんにより開かれた組織に進化できればと思っています。

新室長は、法学研究科教授の高橋明男先生にご担当いただくことになります。今後とも大阪大学アーカイブズへのご支援をよろしくお願い致します。

アーカイブズからのお願い

大阪大学アーカイブズでは、大阪大学（旧制の大阪帝国大学・大阪医科大学・大阪工業大学・大阪高等学校・浪速高等学校・大阪薬学専門学校・大阪外国語大学を含みます）に関する様々な資料を収集しています。広報誌などの学内刊行物、時間割、講義ノート、文書資料、学生運動関係等のビラ、写真（アルバム）、記念品など、大阪大学の歴史に関する資料がございましたら、アーカイブズにご寄贈もしくは貸与いただけますよう、お願い申し上げます。

法人文書の管理に関する研修の実施

法人文書の管理に関する研修は、公文書管理法施行以来毎年度開催してきましたが、今年度は10月27日にコンベンションセンターで開催しました。受講者は90名でした。

昨年度は外部講師を招へいしましたが、今年度はより実務に基づくものとするため、外部講師は招へいせず、菅真城教授（社会学部、アーカイブズ兼任教員）から「公文書管理法に基づく法人文書管理」、文書管理室の

南野晋也室長補佐から「大阪大学法人文書管理規程の概要について」、阪田久美子主任から「法人文書ファイル管理簿へのデータ入力について」の説明を行いました。

行政文書の管理に関するガイドラインが改正されたことから、来年度からはこの研修のあり方について抜本的に改革する必要があります。



法人文書の管理に関する研修の様子(大阪大学コンベンションセンター, 2017年10月27日)

新任教員研修の実施



新任教員研修の様子
(大阪大学会館セミナー室, 2017年12月5日)

2017年12月5日に新任教員研修プログラム（社会学連携能力開発プログラム）「大阪大学の歴史」を大阪大学会館セミナー室で開催しました。アーカイブズが新任教員研修プログラムを提供するのは初めてのことでした。菅真城教授が、前身諸学校を含む大阪大学の歴史について、重要トピックを取り上げ、時系列に講義しました。また、歴史を明らかにするうえでの資料の重要性についても触れました。受講生は21名でしたが、熱心な質問が多く寄せられました。このプログラムは来年度以降も実施する予定です。

受贈刊行物 (2017年9月～2018年2月)

追手門学院大学学院志研究室

学院志研究室 News Letter 第6号

大阪商業大学商業史博物館

大阪商業大学商業史博物館紀要 第18号

大阪女学院教育研究センター

大阪女学院教育研究センターNewsletter 第13号、With Kind Thoughts and Best Wishes for Christmas and the New Year 2017-2018

大阪市立大学大学史資料室

大阪市立大学史紀要 第10号

学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻

学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻入試説明会(チラシ)、記録を守り 記録を伝える 2017.7.1(リーフレット・冊子)

神奈川歯科大学

学校法人 神奈川歯科大学 100年史

神奈川大学資料編纂室

神奈川大学史資料集 第三十四集 神奈川大学会議録(十八)

金沢大学資料館

金沢大学資料館・北陸学院ウイン館・石川県立自然史資料館連携企画展 お雇い外国人と石川の近代教育 ～ランバート、ホイットニー、ウインの仕事～(チラシ)、金沢大学資料館だより Vol.53・54、平成29年度金沢大学資料館特別展 加賀藩校扁額 ～明倫堂・経武館～(パンフレット)

関東学院学院史資料室

関東学院学院史資料室ニュース・レター No.21

九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻

シンポジウム 情報管理専門職をめぐる民間企業と大学・学界 ―記録情報管理の現状と研究教育・人材育成―(チラシ・ポスター)

京都産業大学

サギタリウス vol.77・78

京都大学大学文書館

京都大学大学文書館企画展 京都大学の歩みを知る ―大学文書館の仕事―(チラシ)、京都大学大学文書館だより 第33号

近畿大学建学史料室

A Way of Life-Seko Koichi- 世耕弘一先生建学史料室広報 24号

慶應義塾体育会

慶應義塾体育会創立125年記念 特別展 近代日本と慶應スポーツ ―体育の目的を忘るゝ勿れ―(チラシ・ポスター)

慶應義塾福澤研究センター

慶應義塾福澤研究センター通信 第27号

皇學館大学研究開発推進センター

平成28年度 皇學館大学研究開発推進センター年報 第4号

神戸国際大学学術研究会

神戸国際大学紀要 第93号、神戸国際大学経済経営論集 第37巻第2号

神戸女学院史料室

學報 NO.181、Calendar 2018

神戸大学附属図書館大学文書史料室

神戸から世界の海へ 企画展 神戸における海技術者教育100年の歩み(チラシ)、平成29年度神戸大学史・特別展 神大キャンパス今昔物語 ―神戸大学創立115周年記念―(チラシ・ポスター)

国際基督教大学歴史資料室

国際基督教大学歴史資料室 特別展 ヴァイニングとたね ―平和を実現する教育者たち―(チラシ)

淑徳大学アーカイブズ

淑徳大学アーカイブズ・ニュース 第16号、平成29年度淑徳大学アーカイブズ特別展示 「老い」へのまなざし ―国家と家における高齢者福祉の歴史―(冊子・チラシ・ポスター)

女子美術大学歴史資料室

女子美 人物史展(チラシ)、女子美術大学歴史資料室ニューズレター TEXNH MAKPA 第11号

成城学園教育研究所

成城教育 第177・178号

拓殖大学創立百年史編纂室

拓殖大学百年史 通史編三 昭和後期平成期

玉川大学教育博物館

玉川大学教育博物館 館報 第15号

筑波大学アーカイブズ

筑波大学アーカイブズだより 創刊号

津田塾大学津田梅子資料室

英学の源流 女子英学塾が果たした役割(チラシ)

帝京大学総合博物館

帝京大学総合博物館企画展 帝京大学薬学部創設40周年記念 帝京大学薬学部のあゆみと研究最前線 医療のための薬学にはてしない未来を

東海大学

東海大学学園史ニュース No.12、東海大学資料叢書6 旧制東海大学設立認可申請書類(下)、東海大学七十五年史編纂だより 第4号、図録 東海大学75年

東京学芸大学大学史資料室

東京学芸大学主催国際シンポジウム 師範学校アーカイブズの現状と課題 ―20世紀東アジアの教育と向き合う―(チラシ)、東京学芸大学大学史資料室展示会 學芸今昔(チラシ)

東京大学文書館

東京大学文書館ニュース 第59号

同志社女子大学史料センター

同志社女子大学史料センター 第22回企画展 愛以貫之 ―同志社女子大学のキリスト教主義教育―(チラシ)

同志社大学人文科学研究所

同志社関連新聞記事スクラップ集成 (1916～1945) 第一分冊・第二分冊

東北学院東北学院史資料センター

学校法人東北学院 東北学院史資料センター主催 2017年度公開シンポジウム 平和憲法と鈴木義男(チラシ・ポスター)、東北学院史資料センター2017年度公開シンポジウム 東北学院史の可能性 ―「東北学院の歴史」刊行に寄せて―(チラシ・ポスター)

東北大学史料館

東北大学 都市景観大賞特別賞・登録有形文化財記念片平キャンパスの過去・現在・未来(ポスター)、東北大学史料館だより No.27

東洋英和女学院

史料室だより No.89、楓園 No.84・85

獨協学園獨協学園史資料センター

第5回企画展 姫路獨協大学30周年記念展 「今」を見つめ「未来」へつなぐ ～地域とともに～(チラシ)、獨協学園資料センター 研究年報 第8・9号

長崎大学

広報誌CHOHO Vol.61・62

日本大学

日本大学 大学史ニュース 第13号、平成29年度 日本大学学部連携研究推進シンポジウム 日本大学の自校史教育担当者養成実践シンポジウム 全学共通科目「自主創造の基礎」の充実化をめざして(チラシ)

白鳳短期大学

学校法人西大和学園 白鳳短期大学 創立20周年記念誌

法政大学史委員会

法政大学と出陣学徒 ―「法政大学と出陣学徒」事業最終報告会―(チラシ・ポスター)

明治学院歴史資料館

明治学院歴史資料館ニュースレター No.9

立教学院展示館

フィールド・エデュケーション 生きた場から学ぶ立教の教育プログラム ～大郷博チャプレンの働きを通して～

(チラシ)、立教学院展示館第3回企画展 ポール・ラッシュ生誕120年企画 わが人生、日本の青年に捧ぐ ―知られざるポール・ラッシュ物語―

あおぞら財団

資料館だより NO.62・63、大阪の大気汚染から学ぶ 西淀川フィールドワーク・プログラムのご案内、水平社博物館第18回企画展 公害認定から50年 水俣病は終わっていない(チラシ)、天然酵母のパンとランチ くじらカフェ(チラシ)、ニッポン国VS泉南石綿村(チラシ)、矢倉海岸・緑陰道路探鳥会(チラシ)、りべら 147号、未来に「希望」を広げよう！公害資料館の“わ” 第5回 公害資料館連携フォーラム in 大阪(チラシ)

旧制高等学校記念館

記念館だより 第73号

国文学研究資料館

国文研ニュース No.49・50、ブックレット〈書物をひらく〉 6 江戸の博物学 島津重豪と西南諸島の本草学、ブックレット〈書物をひらく〉 7 和算への誘い 数学を楽しんだ江戸時代、ブックレット〈書物をひらく〉 8 園芸の達人 本草学者・岩崎灌園、ブックレット〈書物をひらく〉 9 南方熊楠と説話学、ブックレット〈書物をひらく〉 10 聖なる珠の物語 空海・聖地・如意宝珠、ふみ 「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」ニュースレター 第9号

国立極地研究所

立川の研究者たち 立川の世界一！ インタビューで綴る極地研の仕事

大学基準協会

大学基準協会 15年の歩み(2002－2016年) 創立70周年記念誌

帝国データバンク史料館

TEIKOKU DATABANK Historical Museum Muse Vol.30、テーマ展示 歴史に残して伝えたい 社内報(チラシ)

西日本旅客鉄道株式会社

西日本旅客鉄道株式会社30年史 1987～2016(冊子・DVD)、西日本旅客鉄道株式会社30年史(資料編)

人と防災未来センター資料室

2017年度資料室企画展 1.17はじまりのごはん(チラシ)、資料室ニュース vol.64

愛知県公文書館

愛知県公文書館だより 第22号

尼崎市立地域研究史料館

地域史研究 ―尼崎市立地域研究史料館紀要― 第117号

大阪市公文書館

大阪港開港150年 公文書にみる大阪港のあゆみ(チラシ・ポスター)

沖縄県公文書館

ARCHIVES 沖縄県公文書館だより 第54号、琉球政府
文書デジタルアーカイブ 琉政だより NO.04・05

小布施町

小布施町文書館だより Vol.6

香川県立文書館

香川県立文書館企画展 香川県の挑戦 昭和のビッグ
プロジェクト2 ー交通体系の整備ー(チラシ)

神奈川県立公文書館

神奈川県立公文書館だより 第37号

宮内庁書陵部

昭和天皇実録 第十三 自 昭和三十五年 至 昭和三十
九年、昭和天皇実録 第十四 自 昭和四十年 至
昭和四十四年、昭和天皇実録 第十五 自 昭和四十五
年 至 昭和四十八年、東京都立中央図書館・東京都公
文書館・宮内庁宮内公文書館共催 東京文化財ウィーク
2017参加企画展 幕末の大奥と明治の皇城 ー和宮と
昭憲皇太后ー(パンフレット・ポスター)

国立公文書館

国立公文書館所蔵資料展 明治日本とふくいの軌跡
幕末明治福井150周年博関連事業(チラシ・ポスター)、国立
公文書館ニュース vol.11・12、平成28年度 アーカイブ
ズ研修Ⅲ修了研究論文集、平成29年秋の特別展 日本・
デンマーク外交関係樹立150周年記念 日本とデンマー
ク ー文書でたどれる交流の歴史(チラシ・ポスター)

佐賀県医療センター好生館

好生館 180年記念誌

相模原市立公文書館

相模原市立 公文書館だより 第6号

札幌市総務局行政部公文書館

公文書館だより 第5号

滋賀県県民生活部県民活動生活課県民情報室

滋賀のアーカイブズ 滋賀県県政史料室だより 第3号

大東文化歴史資料館

大東文化歴史資料館だより 第22号、継往開来 創立百
周年を目指して ー大東文化大学が歩んできた道ー

東京都公文書館

東京都公文書館だより 第31号

長野県立歴史館

博物館の父 田中芳男 ー「虫捕御用」の明治維新(チラ
シ・ポスター)、平成29年度秋季企画展「縄文土器展Ⅱ」
進化する縄文土器 ー流れるもようと区画もようー、長野
県立歴史館だより 2017年 冬号 vol.93

新潟市文化スポーツ部歴史文化課

新潟市歴史資料だより 第25号

福井県文書館

国立公文書館所蔵資料展 明治日本とふくいの軌跡
幕末明治福井150周年博関連事業、文書館だより 第25号

福岡共同公文書館

福岡共同公文書館 開館5周年記念特別展 公文書で
めぐる鉄道の旅 ー近代の福岡ー(チラシ・ポスター)

福島県文化振興財団

福島県歴史資料館 福島県史料情報 第49号

武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館

市制70周年記念企画展 歴史公文書からみる市制施行
周年行事 ー武蔵野市70年の記憶ー(パンフレット)、市制
施行70周年企画展 TARGET No.357 ー攻撃目標と
なった町、武蔵野ー(チラシ・ポスター)、市制施行70周年
企画展 歴史公文書からみる市制施行周年行事 ー武
蔵野市70年の記憶ー(パンフレット)

和歌山県立文書館

和歌山県立 文書館だより 第50号

全国大学史資料協議会

研究叢書第18号 キャンパス形成史 ー2016年度全国
研究会の記録 於:広島大学ー

全国大学史資料協議会東日本部会

大学アーカイヴズ No.57

大阪大学総務部

第1回大阪大学開放講座 機械文明の中の人間、第5回
大阪大学開放講座 エネルギー問題、第6回大阪大学開
放講座 一つの地球とわれわれの暮らし、第7回大阪大学
開放講座 日本を考える、第8回大阪大学開放講座 世
界の中の日本、第10回大阪大学開放講座 アジアと日
本、第11回大阪大学開放講座 教育・医療と生活 ー21
世紀への展望ー、第12回大阪大学開放講座 体験から
創造へ、第19回大阪大学開放講座 都市 ー機能・構造
と人間ー、第20回大阪大学開放講座 人・社会・科学に
おける転機 ー21世紀にむけてー、第23回大阪大学開
放講座 研究の最前線と私達の生活、第24回大阪大学
開放講座 研究のフロンティアと21世紀への提言、第27
回大阪大学開放講座 国際化の時代と大阪 戦後50年
と日本 生命と環境、第29回大阪大学開放講座 「1997
年の政治と経済ー日本・APEC・EUー」「生命と情報」
「くらしとハイテクノロジー」、第31回大阪大学開放講座
「大阪の歴史」「環境に今何が起きているか」「医療の
最前線を見る」、大阪大学放送講座 暮らしと機械の頭
脳、大阪大学放送講座 日本経済の見方、大阪大学放送
講座 病気の原因をさぐる、大阪大学放送講座 日本を
考える、レーザーと未来社会 先端技術へのインパクト
大阪大学放送講座、見る 先端科学技術の“目” 大阪大
学放送講座、大阪大学放送講座 私たちの生活の中での
薬、高温の科学 先端技術のパイオニア 大阪大学放
送講座、大阪大学放送講座 相互理解、大阪大学放送講

座 変わる？人間の科学、大阪大学放送講座 ことばは生きている、平成5年度 大阪大学放送講座 バイオテクノロジーへの招待、平成5年度 大阪大学放送講座 異文化の交流ー過去・現在・未来ー、平成8年度 近畿地区大学放送公開講座 タンパク質ー生命を支える物質ー、平成8年度 近畿地区大学放送公開講座 21世紀の日本経済と企業経営ー知らしむべし、由らしむべからずー、平成9年度 近畿地区大学放送公開講座 未来を拓くレーザー科学

大阪大学企画部

阪大NOW No.154・155、阪大関係新聞記事 H26.10.1～、阪大関係新聞記事 H26.12.1～、阪大関係新聞記事 H26.4.1～、阪大関係新聞記事 H26.6.1～、阪大関係新聞記事 H26.8.1～、阪大関係新聞記事 H27.10.1～、阪大関係新聞記事 H27.12.1～、阪大関係新聞記事 H27.2.1～、阪大関係新聞記事 H27.4.1～、阪大関係新聞記事 H27.7.1～

大阪大学教育・学生支援部

大阪大学 平成30年度学生募集要項 一般入試(前期日程)、大阪大学受験生と保護者の皆さまへ これを読めば阪大受験はバッチリ！ 阪大受験 サポートBOOK 2018

大阪大学国際部

OSAKA UNIVERSITY 1985ー86・1986ー87、Study at OSAKA UNIVERSITY Admission Guide 2017

大阪大学施設部

大阪大学環境報告書 2017

大阪大学全学教育推進機構

News Letter 大阪大学全学教育推進機構ニュースレター Vol.2、大阪大学教員のためのファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド 2017年度 10月～3月

大阪大学男女協働推進センター

大阪大学男女協働推進センター NEWS No.03、～大阪大学が男女協働を推進すべき4つの理由～(チラシ)

大阪大学21世紀懐徳堂

大阪大学21世紀懐徳堂がおくる、待兼山魅力アップ企画 秋の待兼山でサイエンスカフェ！(チラシ)、大阪大学21世紀懐徳堂だより vol.34・35、大阪大学書評対決 ブックコレクション 教員VS学生団体 2017年度上半期、大阪大学と朝日カルチャーセンターの共同講座 Handai-Asahi 中之島塾 2017年9～12月(チラシ)、児童演劇のフロンティア ～アンデルセン童話が生まれた国デンマークに学ぶ～(チラシ)、第9回大阪大学×大阪音楽大学ジョイント企画 月と音楽(チラシ)、デンマーク社会へのアプローチ ～留学とその方法～(チラシ)、待兼山PRESS

大阪大学適塾記念センター

適塾 No.50、平成29年度 大阪大学適塾記念講演会(チラシ・ポスター)

大阪大学安全衛生管理部

SAFETY MANUAL 2017、安全のための手引 2017

大阪大学環境・エネルギー管理部

節電活動にご活用ください。大阪大学「ワニ博士」節電シール、ワニ博士のウォームビズ！？ 賢く、快適に省エネ活動推進中(チラシ)

大阪大学経営企画オフィス

大阪大学・筑波大学コラボによる特別編 二頁だけの読書会 vol.10 「あなた」と「私」を結ぶものー新たな人のつながりを生み出す＜経験の継承＞を考える(チラシ)

大阪大学附属図書館

大阪大学図書館報 51巻 1号

大阪大学医学部

IEXAS 施設便り 2017

大阪大学医学部附属病院

Osaka University Hospital Annual Report 2016、阪大病院NEWS No.67～69号

大阪大学大学院基礎工学研究科

第2回大阪大学豊中地区研究交流会 文×理「知」の融合 文理融合・異分野連携・産学共創への架け橋(ポスター)

大阪大学高等司法研究科

OULS ニュースレター No.19

大阪大学蛋白質研究所

IPR Prospectus 2017、IPR 要覧 2017

大阪大学接合科学研究所

文部科学省 学際・国際的高度人材育成 ライフイノベーションマテリアル創製 共同研究プロジェクト 平成29年度 研究成果中間報告書

大阪大学環境安全研究管理センター

環境安全ニュース No.61・62

大阪大学総合学術博物館

大阪大学総合学術博物館 第10回特別展 演じる私たち～戦後20年関西「新劇」の軌跡～(チラシ)、大阪大学総合学術博物館 大学博物館を活用する文化芸術ファシリテーター育成プログラム 記憶の劇場Ⅱ 展覧会(チラシ)、関西学院大学博物館×大阪大学総合学術博物館 連携公開シンポジウム 戦後の関西「新劇」を考えるー市民生活と演劇ー(チラシ)、記憶の劇場Ⅱ 大阪大学総合学術博物館ー大学博物館を活用する文化芸術ファシリテーター育成講座 活動⑤「パフォーミング・ミュージアム Vol.2「くるみ座」を上演する」関連演劇公演 くるみ座を上演する 豆の波音(チラシ)、大阪大学総合学術博物館「記憶の劇場Ⅱ」ー大学博物館を活用する文化芸術ファシリテーター育成プログラム」活動⑥「旅・芸のTELESOPHIA」関連トークイベント「劇場とは何だろう？ー伝統芸能と劇場の関係を考えるー」(チラシ)

大阪大学サイバーメディアセンター

CALL FOR RESEARCH PROJECT PROPOSALS USING SUPERCOMPUTER SYSTEM 平成30年度 大規模計算機システム 公募型利用制度募集(チラシ・ポスター)、NEW ARRIVAL SUPERCOMPUTER "OCTOPUS" 全国共同利用大規模並列計算システム、12月新規導入。(チラシ・ポスター)、サイバーメディアセンター年報 2016 No.17

大阪大学生協同組合

Campus Life Vol.52・53、Handai Walker No.176～178

咲耶会(大阪外国語大学・大阪大学外国語学部同窓会)
会報 咲耶 No.28

適塾記念会

公開講座フェスタ2017 知力の結集(パンフレット)、阪神奈の大学・研究機関が知力を結集したリレー講座 公開講座フェスタ2017(チラシ)

大西 愛

海外アーカイブ・ボランティアの会 国際機関アーカイブ整理プロジェクト 2009～2017 報告集 2017

長井伸仁

上智大学における学徒出陣 ―その歴史と記憶―

菅 真城

生産と技術 Vol.69 No.4・Vol.70 No.1(上・下巻)、生産と技術 第1巻第1・2号、アーカイブ事典

業務日誌(抄) (2017年9月～2018年2月)**2017年**

- ・ 9月7日 寺田副理事が視察
- ・ 9月8日 米田副理事が視察
- ・ 9月9～10日
菅教授(社会学部、アーカイブズ兼任教員)、京都出張。アーカイブサミット2017 in 京都(京都府立京都学・歴史館、教養教育共同化施設「稲盛記念会館」)に出席
- ・ 9月20日 菅教授、東京出張。国立大学図書館情報交換会(学習院大学)に出席
- ・ 9月21日 菅教授、東京出張。第204回記録管理学会理事会(株式会社エフエムソリューション)に出席
- ・ 10月4日 小川理事、三成理事と面談
- ・ 10月5日 経済学部専門科目「各論(文書学II)」開講 金沢大学資料館から個人情報等公開について照会
- ・ 10月11～13日
菅教授、愛知出張。全国大学史資料協議会2017年度総会ならびに全国研究会(愛知大学)に出席
- ・ 10月14～15日
菅教授、新潟出張。新潟県立環境と人間のふれあい館で研究打ち合わせ
- ・ 10月16日 外国学図書館から1930年、1931年、1932年の旧制浪速高等学校の在学生名簿の所蔵について照会

- ・ 10月19日 学外から所蔵資料について照会
- ・ 10月27日 法人文書の管理に関する研修を開催
- ・ 11月8日 看護同窓会から資料受贈
- ・ 11月9～10日
菅教授、神奈川出張。第43回全史料協全国(神奈川相模原)大会に出席
- ・ 11月17日 高エネルギー加速器研究機構史料室の教職員3名が視察
- ・ 11月28日 大阪府公文書館から明治150年記念事業について照会
広報課から吹田キャンパス移転当時および直後の写真について照会
- ・ 12月5日 新任教員研修プログラム(社会学部連携能力開発プログラム)「大阪大学の歴史」を開催
- ・ 12月20日 学外から大阪高等工業学校の資料の所蔵について照会

2018年

- ・ 1月29日 菅教授、東京出張。第206回記録管理学会理事会(株式会社エフエムソリューション)に出席
- ・ 1月31日 菅教授、東京出張。第15回アーカイブズ関係機関協議会(独立行政法人国立公文書館)に出席
- ・ 2月13日 第10回アーカイブズ運営委員会を開催

大阪大学アーカイブズ利用案内

・開室日

次に掲げる日を除く毎日

- (1) 日曜日及び土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日

・利用時間

午前9時30分～午後4時30分

・利用請求の受付

午前9時30分～正午、午後1時～午後4時

大阪大学アーカイブズ構成員名簿

室 長 飯塚 一幸（文学研究科・教授）

〈兼任教員〉

【法人文書資料部門】

菅 真城（共創機構社会学共創本部・教授）
高橋明男（法学研究科・教授）
瀧口 剛（法学研究科・教授）
三阪佳弘（高等司法研究科・教授）
藤本慎司（工学研究科・教授）
阿部浩和（サイバーメディアセンター・教授）
中村征樹（全学教育推進機構・准教授）

【大学史資料部門】

菅 真城（共創機構社会学共創本部・教授）
廣田 誠（経済学研究科・教授）
進藤修一（言語文化研究科・教授）
松永和浩（共創機構社会学共創本部・准教授）
田口宏二郎（文学研究科・准教授）

〈事務担当〉

大阪大学総務部総務課文書管理室

室 長	池本 忠雄（総務部総務課長）
室長補佐	南野 晋也
主 任	阪田 久美子
事務補佐員	笠川 佐穂理
	伊丹 英樹



大阪大学アーカイブズニュースレター 第11号

発行日 2018年3月30日
編集発行 大阪大学アーカイブズ
〒562-8558
大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

Tel. (072) 730-5113
Fax. (072) 730-5114
E-mail office@archives.osaka-u.ac.jp
http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/ed_support/archives_room